

北部機械金属業界の景況動向

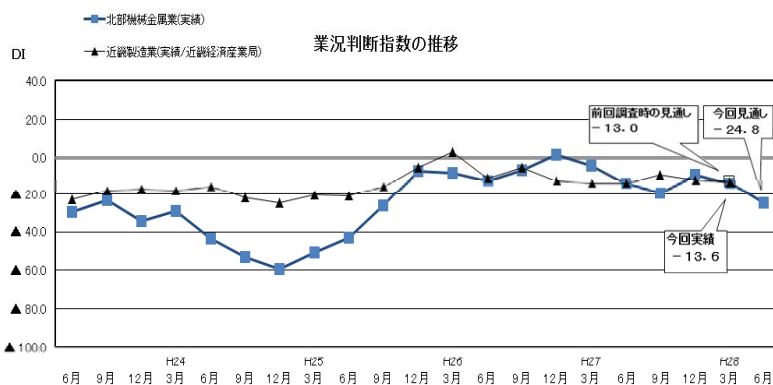
(2016年1~3月実績/2016年4~6月見通し)

- 調査対象：綾部市以北5市2町の機械金属関係企業181社 【調査時点 平成28年3月下旬】
- 回答数：125社（回答率69.1%、内訳は以下のとおり。）
 - ①市町別 = 福知山市:25、舞鶴市:20、綾部市:19、宮津市・与謝郡:11、京丹後市:50
 - ②取扱別 = 一般機械:46、電気機械:15、輸送機械:29、精密機械:11、その他:18、未回答:6
 (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等 電気機械…家電部品、電子部品等
 輸送機械…自動車部品、船舶等 精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
 - ③従業員数別 = 1~9人:32、10~19人:27、20~49人:39、50~99人:13、100人以上:13、未回答:1
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

— 調査結果 —

1 景況動向判断

●1~3月実績のDI(業況判断指数)は -13.6 となり、10~12月期(以下「前回」)より4.6ポイント低下した(前回-9.0)。地域別では、福知山市域は 4.0(前回11.5)となり前回より低下したが、プラス域の結果となった。舞鶴市域は-5.0(前回 -5.3)、綾部市域は-31.6(前回-27.8)、宮津市・与謝郡域は-36.4(前回-38.5)、京丹後市域は -14.0(前回-6.3)であった。舞鶴市域、宮津市・与謝郡域は僅かに改善した。



注：DI = (非常に良い+良い) - (非常に悪い+悪い)

●4~6月見通しのDIは-24.8と、前回より11.8ポイント低下の見通しとなった(前回-13.0)。

地域別では、福知山市域は-12.0(前回 7.7)、舞鶴市域は-30.0(前回0.0)、綾部市域は-36.8(前回-33.2)、宮津市・与謝郡域は-45.5(前回-53.8)、京丹後市域は-20.0(前回-10.7)であり、北部地域全体がマイナス域の見通しとなった。宮津市・与謝郡域のみ前回と比べて改善の見通しとなっている。

景況動向判断1~3月実績

| 地域 | 非常に良い | 良い | 普通 | 悪い | 非常に悪い |
|-------|-------|------|------|------|-------|
| 全体 | 0.8 | 17.6 | 49.6 | 30.4 | 1.6 |
| 福知山市 | 20.0 | 64.0 | 16.0 | | |
| 舞鶴市 | 25.0 | 45.0 | 30.0 | | |
| 綾部市 | 10.5 | 47.4 | 42.1 | | |
| 宮津・与謝 | | 63.6 | 36.4 | | |
| 京丹後市 | 20.0 | 42.0 | 32.0 | 4.0 | |

景況動向判断 4~6月見通し

| 地域 | 非常に良い | 良い | 普通 | 悪い | 非常に悪い |
|-------|-------|------|------|-----|-------|
| 全体 | 12.0 | 51.2 | 35.2 | 1.6 | |
| 福知山市 | 8.0 | 72.0 | 20.0 | | |
| 舞鶴市 | 5.0 | 60.0 | 35.0 | | |
| 綾部市 | 5.3 | 52.6 | 42.1 | | |
| 宮津・与謝 | | 54.5 | 45.5 | | |
| 京丹後市 | 22.0 | 36.0 | 38.0 | 4.0 | |

2 採算状況

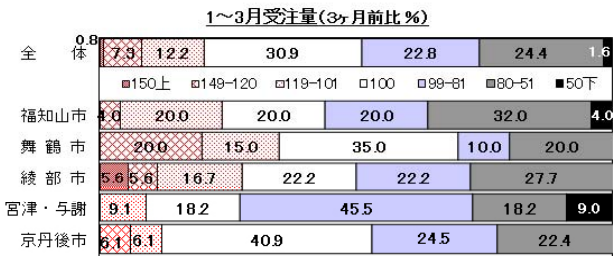
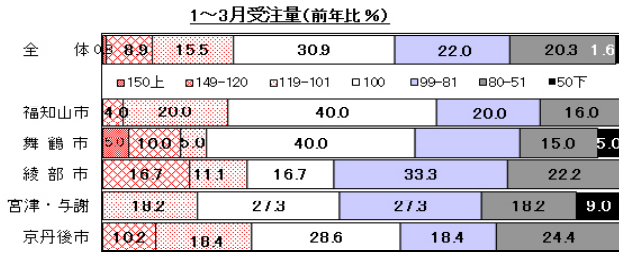
●1~3月の採算状況は、赤字とする企業が16.8%(前回14.7%)と2.1ポイント増加した。地域別では、福知山市域、綾部市域、京丹後市域は黒字とする企業が赤字とする企業を上回っており、舞鶴市域は、赤字とする企業と黒字とする企業が同数であり、宮津市・与謝郡域においては、黒字とする企業が皆無であった。

1~3月採算状況

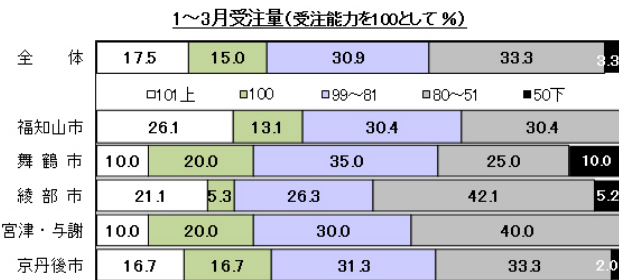
| 地域 | 黒字 | トントン | 赤字 |
|-------|------|------|------|
| 全体 | 24.8 | 58.4 | 16.8 |
| 福知山市 | 24.0 | 68.0 | 8.0 |
| 舞鶴市 | 20.0 | 60.0 | 20.0 |
| 綾部市 | 31.6 | 47.4 | 21.0 |
| 宮津・与謝 | | 72.7 | 27.3 |
| 京丹後市 | 30.0 | 54.0 | 16.0 |

3 受注量

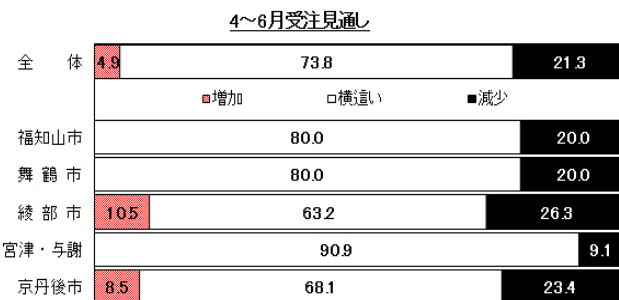
- 1～3月の受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業は56.1%（前回58.7%）と2.6ポイント減少した。対3か月前比100%以上を確保した企業は51.2%（前回62.5%）と11.3ポイント減少した。舞鶴市域、綾部市域、京丹後市域では5割以上の企業が3か月前比100%以上の受注を確保している。



- 1～3月の受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業は32.5%（前回41.0%）と8.5ポイント減少した。全地域において受注能力100%以上の受注確保が5割を割り込んでいる。

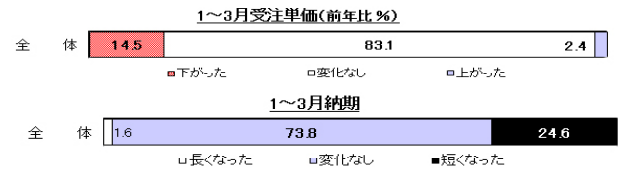


- 4～6月の受注見通しは、増加を見込む企業の割合は4.9%（前回8.3%）と3.4ポイント減少し、減少を見込む企業の割合は21.3%（前回15.7%）と5.6ポイント増加の見通しである。



4 受注条件（受注単価／納期）

- 受注単価が上がったとする企業は2.4%（前回1.7%）と0.7ポイント増加し、受注単価が下がったとする企業は14.5%（前回10.2%）と、4.3ポイント増加した。また、納期が短くなったとする企業は24.6%（前回25.6%）と1.0ポイント減少した。



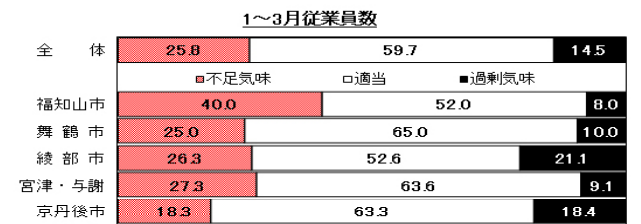
5 資金繰り

- 資金繰りは、悪化とした企業が14.4%（前回10.6%）と前回より3.8ポイント増加した。舞鶴市域、綾部市域、宮津・与謝郡域では好転とする企業が皆無であった。



6 従業員数

- 従業員数は、不足気味が25.8%（前回32.5%）、過剰気味が14.5%（前回12.2%）となった。京丹後市域以外は、不足気味とする企業が過剰気味とする企業を上回っている。



7 今後の事業での重視機能

- 今後の事業で一番重視する機能は、全体で「生産」とされる企業が46.6%と最も多いが、「開発」を重視する割合は、綾部市域26.3%、舞鶴市域22.2%が高く、「営業」を重視する割合は、綾部市域31.6%、京丹後市域26.3%が高かった。

